

大分寺婦

第27号

発行
大分教区
寺族婦人会連盟
〒874-0920
別府市北浜3丁目6-36
本願寺別府別院内
TEL 0977-22-0146

新年のご挨拶

大分教区寺族婦人会連盟 委員長 **野本恵子**



新年を迎え慈光のもと、益々ご健勝にてお念仏相続のことと存じます。この度委員長に就任致しました下毛中組覚正寺の野本と申します。就任早々、6月教区寺婦研修旅行において東日本大震災での被災地である仙台別院へ、念願の参拝が出来まし

た。被災地に足を踏み入れると空気が違うのを感じました。辛い思いを一杯抱えている方が沢山おられる事を輪番様や、東北教区災害ボランティアセンターの方より拝聴させて頂きました。まさに、私たちが今、「辛いよ」の声に「辛いね」とこどもしあわねばならないのではないのでしょうか。地球規模での災害や争い等心穏やかに安らぐ日々はありません。このような現況下だからこそ「生死出づべき道」を問わずにはいられない大切な教えに出遇えた私たちです。如来の

智慧と慈悲に照らされ、願われ、生かされて、尊いお念仏を通して、信心の姿を自分の生きざまの中で伝えられる坊守でありたいものです。小さいご縁をも拾って行きましょう。「そつとつながる ホツがつたわるく結ぶ絆から、広がるご縁へ」 出合いに感謝！
合掌

● 研修総会 ●

平成25年度 大分教区寺婦連盟総会が5月27日(月)別府別院本堂にて行われました。県下各組から88名の参加者があり、総会前の歓談で、なごやかに総会の開式を迎えました。午前の開会式では、讃仏偈をお勤めした後、沙々木学海教務所長のご挨拶があり、甲斐寺婦連盟委員長のご挨拶がありました。

そして、2012年(平成24年)度、活動報告、決算、なら



勤行

びに監査報告、2013年(平成25年)度、活動計画案、予算案が審議され、その後今年度よりの新役員、委員の紹介がありました。

午後からの講話では、医学博士で日本外科学会専門医、日本消化器外科認定医で、現佐藤第二病院院長の田畑正久先生に「医療文化と仏教文化」と題してのご講話をいただきました。

その中で「医療文化」とは科学的合理主義(計算的思考)で物の表面的価値を管理支配しよう



委員長 挨拶

とするのに対し「仏教文化」とは、全体的思考で物の言う声を聞く、物の背後に宿されている意味を感得し管理支配しない事であるというお話をされました。

医療文化と仏教文化が協力し合うことが大切で、医療現場で活躍できる僧侶を育てることが大切だと締めくくられました。

寺婦の会員として自分には何ができるか改めて考えさせられた研修総会でした。



講話 田畑 正久先生



教務所長 挨拶



新役員・委員紹介



総会議事



たくさんの出席者の皆様方

研・修・旅・行

仙台別院・会津若松・築地本願寺参拝の旅

6月26日～28日の3日間、4年に一度の寺婦研修旅行で、仙台方面に行きました。震災後、一度は行かなくてはと言う思いと、行って何が出来るかと言う不安の中、梅雨空について仙台空港に飛びました。空港を出て外から建物を見た時、余りにも上の方に線がついていました。この高さまで津波が来たとの事、



仙台別院

テレビで見た様子を思い出し、現実の怖さを感じました。空港のまわりは草茫茫で、今だにそのままの家や、大きな本堂がポツンとありました。

仙台別院に着き、今のボランティアの状況をお聞きしました。支援の形は刻々と変わり、一つは、バラバラになっていて各地域の方が会館に集まって近況報告をしたり、悩みを聞いたり、心を支える活動が中心になっているそうです。ただ、浄土真宗のご門徒さんが少なく、本堂にお参りされる方は、ほんのわずかだそうです。集まった方にお茶菓子を出すのですが、各地の名産を喜ばれるので、大分のお菓子を送ってもらえると助かるとの事でした。その声を聞き、皆さんすぐにも送る勢いだっ

たので、お願いした時にと、慌

てて言われました。

もう一つは、そこで生活出来る様に、田畑の瓦礫を出したりと、働ける状態を作る事だそうです。それでも復旧は進み、観光地ではお客さんを多く見かけました。もう一つ出来る支援は、お土産を買う事と言われ、皆バスに戻る時には、大きな袋を下げていらつしゃいました。

八重の桜・鶴岡城・築地本願寺・スカイツリーと、いろいろな思いの中、観光を楽しみました。「私は晴れ女です」なんて



夕食(1日目)



築地本願寺



夕食(2日目)

暴言を吐きましたが行く先々で暑いくらい晴れ、皆さんから喜



んで? いただきました。福岡空港に着いたら又雨…。
 今回の旅行で私達に出来る支援は、お茶菓子を送る事。イエ、忘れない事。そして、少しでもよいから自分で出来る事をする事が大切なのではないでしょうか。

合掌

おくやみ

平成二十四〜二十五年は左記の方が逝去されました。謹んでお悔やみ申しあげます。

○井上 祐子(86歳)

院内組 安楽寺 前坊守
 平成二十四年十二月二十八日

○鷺司 美恵子(83歳)

岡組 光明寺 坊守
 平成二十五年一月二十三日

○護城 久美子(87歳)

豊後高田組 興隆寺 前坊守
 平成二十五年一月二十九日

○黒野 セツ(80歳)

岡組 瀧上寺 前坊守
 平成二十五年二月二十七日

○渡邊 榮子(89歳)

岡組 明圓寺 前坊守
 平成二十五年三月二十六日

○副 節子(83歳)

院内組 光善寺 前坊守
 平成二十五年 五月 二日

○伊美 テルコ(89歳)

国東中組 教圓寺 前坊守
 平成二十五年 五月 七日

○藤音 喜久代(89歳)

大海組 教尊寺 前坊守
 平成二十五年八月二十四日

○紅 椽 哲(97歳)

耶馬溪組 雲西寺 前坊守
 平成二十五年 九月十三日

あとがき

「ななつ星in九州」超豪華寝台列車の運行が始まりました。今までの在来線を走るので、

車内からの景色が、新鮮な違ったものとして見えるのではと想像します。『お・も・て・な・し』精神がふんだんに盛り込まれているそうです。流行語大賞の一つにもなりました。『もてなす』は、他人の為にしてあげたい、恵み、施したいと思うこと、また、させていただくこと。これは、仏教の、“布施”の心にもつながっていくのではと思います。ななつ星号に乗る余裕など持てませんが、寺族婦人として、せめて“ひとつ星”になるようなお取り次ぎをめざしたいと思います。

お内佛報恩講のご案内

日時：二〇一四(平成二六)年二月五日(水)

十時四十五分〜受付

場所：本願寺別府別院「会館お内佛」(二階)

講師：大塚 憲城先生(日田組・円福寺)